

2020年度 社会福祉法人一宮乳児福祉会本部事業計画

1. 保育園の発展のため、中長期計画を立て、必要な整備など実施する

- (1) 昨年3月の「一宮市保育所等施設総合管理計画」、9月の「民間移管実施基準」など、市の保育行政の動向や両園の地域の保育ニーズ、待機児童数の予測などをもとに、これからの事業展開を検討する。
- (2) かもめ保育園の施設の現状を調査し、5年後・10年後の修繕計画を立てるなど必要な準備を進める。
- (3) 両園の設備状況を調査し、必要な整備を進めるとともに、整備計画を立案する。

2. 経営基盤の安定強化を図る

- (1) あいち保育共同連合会の活動に参加し、情勢をつかみ、情報交流を進めるとともに、結成が予定されている社会福祉法人の全国組織に参加し、職員配置基準や公定価格、職員の処遇など、力を結集して改善に取り組む。
- (2) 理事、監事及び評議員それぞれの職務を明確にする。また理事会及び評議員会を円滑に進め、施設の健全な経営を行なう。
- (3) 4月当初から常時保育定員を満たすよう、あらゆる機会を通して保育や給食の良さを広く紹介するなど創意工夫を凝らし、子どもの入園募集に力を入れる。
- (4) 新規採用者の確保のため、法人HPや「夢かな広場」を活用して早期に必要な準備を進める。特に入職年数の浅い職員の声や在園保護者の意見を活用して「かもめの良さ」をアピールし、多数応募してもらえるよう工夫する。
- (5) 法令を遵守するため、規程や規約などを見直し、整合性のある整備を進める。特に、来年度実施のいわゆる「パートタイム・有期雇用労働法」に対応した改正を行なう。
- (6) 保育や給食の実践力量向上を図るとともに、保育園の歴史や民主的な運営など法人の施設職員として必要な知識や能力を養うための研修を行う。
- (7) 法人本部及び各施設の文書作成管理や経理事務などを的確かつスピーディーに処理するため、事務職員の確保を含め必要な方策をとっていく。

3. 職員が働きやすい職場環境づくりを進める

- (1) 組合との懇談などを通して職員の意見をつかみ、改善の方策を立てる。
- (2) 職務を見直し、簡素化を図り、労働軽減を進める。また、できるだけ勤務時間内に終わるように努める。
- (3) 労働安全衛生法を遵守し、働く環境を安全で快適な場にしていく。
- (4) 結婚、出産、子育て、介護などの時期の職員の労働環境には特に配慮する。
- (5) 再雇用職員制度を初めて実施するため、関係職員の意向や状況を把握し、問題や課題の解決を図る。また将来の幹部養成のため、体制や研修の検討を進める。

4. 地域・保護者の信頼に応える保育園にしていく

- (1) 保育園の行事などを通して地域と結びつき、理解や協力、信頼を得ていく。
- (2) 法人の歴史や保育理念の紹介、職員の募集などを法人HPに掲載するなどして、保育園を広く紹介する。
- (3) 地域の団体（町内会や敬老会など）や保育関係団体、保育園OB団体などと交流・親睦を深めるとともに、協力して保育園整備や保育制度の向上、保育園の発展に取り組む。